

■はじめに お使いになる前にならずお読みください。

- お客様、または第三者が本製品のご使用を誤ったこと、または静電気や落雷などの影響を受けたことによって生じた事故や不具合、それらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご承知ください。
- 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷、お買い上げ後の輸送、落下による故障及び破損が認められる場合、いかなる事由においても修理・交換はいたしかねますことを、あらかじめご承知ください。

■安全上のご注意 お使いになる前にならずお読みください。

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合に起こりうる事故の程度を表します

	警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されるもの
	注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害(※3)の発生が想定されるもの

※1：重傷とは、失明やケガ、火傷（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。
※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。
※3：物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。

次の記号は、その注意事項の内容を表します。

	禁止 (してはいけません)		水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけません		ぬれた手でさわらないこと
	分解しないこと		指示を守ること (必ずしなければならないこと)		

！ 警告



指示

- 下記の問題が発生した場合は、ただちに乾電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
- ・使用中・充電中・保管時に、発煙・異臭・異音などが発生した場合
 - ・本製品内部に水や異物が入った場合
 - ・本製品を落とした場合
 - ・本製品が破損した場合



分解禁止

- 乾電池の液漏れや、変色、変形そのほかの異常があった場合は、ただちに使用を止め乾電池から漏れた液体が皮膚や服についた場合はただちに水で洗浄してください。万一、液体が目に入ってしまった場合には、ただちに大量の水で洗浄し、医師に相談してください。



水ぬれ禁止

- 修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となり修理できません。

- 本体内部に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 本製品を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。乾電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により大ケガや火災の原因になります。
- 落したり、投げたりして衝撃を与えないでください。本製品の故障の原因となり修理ができません。
- 本体内部に異物を入れたり、端子部に接触させたりしないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入ったり、端子部に接触すると火災や感電などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 自動車やバイク、自転車などの運転中や歩行中は本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。

！ 注意



ぬれた手でさわらないこと

- 本製品を濡れた手で扱わないでください。火災や感電の原因となり大変危険です。また水濡れが原因で発生するショート・電池の液漏れ等が原因で故障した場合は修理できません。

- 本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、ただちに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診断を受けてください。



指示

- ほかの電気機器の近くで使用した場合、お互いが干渉し雑音が発生する場合があります。特に近くにテレビやパソコンなどの機器がある場合、雑音が大きくなることがあります。その場合は離れた場所でご使用ください。

- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため乾電池を本体から抜いてください。乾電池の液漏れが思わぬけがや火災、故障の原因となり大変危険です。またその場合は修理できませんのでご注意ください。



禁止

- 直射日光の当たる場所、車の社内や温室などの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・やけど・感電の原因になることがあります。

- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色、塗装はげの原因となります。

製品仕様 及び 同梱物

・本体サイズ：約 幅58x奥行26x高さ92mm

・重さ：約76g(電池除く)

・材質：ABS樹脂 他

・AM受信周波数：530～1 600KHz

・FM受信周波数：76～108MHz

・出力端子：イヤホン3.5mmミニジャック

・本体収納巻き取りイヤホン コード長：約70cm

・電源：単四乾電池×2本(3V)

■同梱物：本体×1、保証書付取扱説明書(本書)

アフターサービスについては、直接下記サポート窓口までお問い合わせください。

サポートセンター

TEL:0570-055-054(ナビダイヤル 有料)
FAX:048-997-2082(有料)

受付時間 10:00～12:00、13:00～17:00 (土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く)

Eメールアドレス：aiwa@tohshoh.jp

- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- サポートセンターの電話番号、対応時間などは予告なく変更することがあります。
- 年末年始などのサポートセンターの休業日には、お客様への対応ができない場合がございます。
- ※本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定とさせていただきます。

■各部の名称と操作方法

●スピーカー / イヤホン切替スイッチ

巻取式内蔵イヤホンとスピーカーを切替えます。
※外部イヤホンも使用可能です。右の通り操作してください。

[内蔵巻取式イヤホンを使用する場合]

イヤホン側へスライド



スピーカー・イヤホン

■スピーカー及び外部イヤホン端子から音は出ません。

[外部イヤホンを使用する場合]

スピーカー側へスライド



スピーカー・イヤホン

■スピーカー、内蔵巻取式イヤホンから音は出ません。

[イヤホンを使用しない場合]

スピーカー側へスライド



スピーカー・イヤホン

■外部イヤホンを抜いた状態でスピーカーから音が出ます。

●外部イヤホン端子 (3.5mm ステレオミニジャック) ※音声はモノラルです

●AM/FM 切替・電源スイッチ

AM(右)とFM(真ん中)を切替えます。左[電源/切]にスライドすることで電源が切れます。
※本機は音量を0にしても電源は切れず電池を消耗し続けます。使用を終える場合は必ず本スイッチを[電源/切]にスライドし、電源ランプの消灯を確認してください。
※FMラジオは本体内蔵巻取式イヤホンがアンテナとなります。イヤホンを引き出して受信してください。

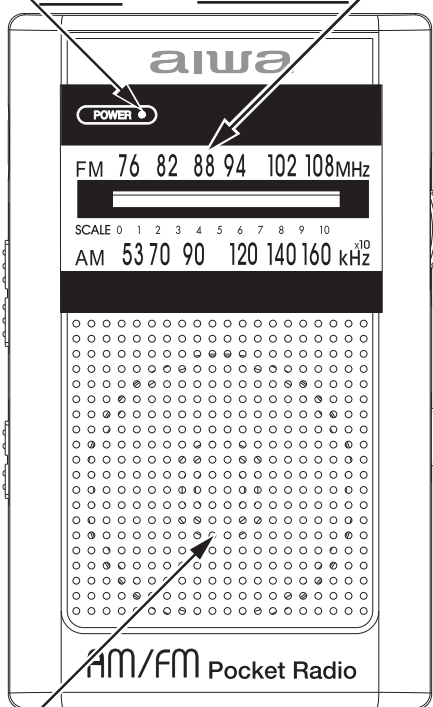
チューニングのコツ

選局ダイヤル：上下に回し放送局に合わせます

- ① チューニング目盛りを目安に、希望の放送局(周波数)におおまかに合わせます
- ② 音を聴きながら選局ダイヤルを「動かすか動かないか」程度の細かな動きで、ノイズが少なくなるまで微調整を繰り返し、聴きやすいところで操作を終えます。

●電源ランプ

●チューニング目盛り



●スピーカー

●音量調整ダイヤル

下に回すと音が大きく、上に回すと小さくなります。
※音量が無音になっても電源は切れません。必ず左側面のスイッチを[電源/切]にスライドし電源を切り、電源ランプの消灯を確認して下さい。

●本体内蔵巻取式イヤホン

コードの長さは70cmです。
それ以上引っ張る力を加えると破損し修理が出来ませんのでご注意ください。

●イヤホン巻取スイッチ

本体内蔵巻取式イヤホンが引き出された状態でスイッチを右にスライドすると自動で巻き取られ本体に収納されます。

※イヤホンを収納する場合は必ずもう片方の手をイヤホンまたはコードに添えてください。巻き取る勢いでイヤホン本体が指などに当たり思わぬ怪我の原因となり危険です。

イヤホン
巻き取り

●電池挿入部

故障かな？と思ったら

■電源が入らない

- ・電池は入っていますか？電池の向きは正しいですか？
- ・電池の容量は十分ですか？

※音量ダイヤルを上に戻し音が消えても電源が切れず電池を消耗し続けます。
必ず[AM/FM 切替・電源スイッチ]を[電源/切]にスライドし、電源ランプの消灯を確認してください。

■音が聴こえない

- ・音量のダイヤルを下(大)に回してください。
- ・選局のダイヤルを動かしてチューニングをしてください。
- ・電池の容量は十分ですか？新しい電池に変えて下さい。

■ラジオが受信できない、雑音が多い

- ・AMラジオの場合は本体内蔵アンテナが受信します。本体の向き・高さを覚えて聴こえやすい状態を探してください。

※AM電波は山影やビル影、鉄筋建物の中では受信しづらく、周辺環境の影響を大きく受けます。
ワイドFMでの受信をお試しください。

- ・FMラジオの場合は本体内蔵巻取式イヤホンがアンテナ替わりに受信します。本体からイヤホンを引き出してご使用ください。
- ・上記「チューニングのコツ」を参照して微調整をおこなってください。

電池の入れ方 (交換方法)

- ① 電池の蓋にある マークを押しながら蓋を本体下に向かってずらします。
- ② 蓋を開け1本目の電池を挿入します。
以下の点にご注意ください。
・プラス(+)が左、マイナス(-)が右です。
・マイナス(-)側でバネを押つぶしながらプラス(+)をはめ込みます。
- ③ 2本目の電池を挿入します。1本目と同じ挿入方法ですがプラス(+)とマイナス(-)の向きが逆になりますのでご注意ください。

